

「Tokushima Navi」では、学力・学校力向上のために、明日からの実践に役立つ資料を掲載していきます。研修など、さまざまな機会でご活用ください。

大学連携強化! 学校力向上拠点校事業の取組から くわしくはこちら→

https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/page_20230207022015/page_20230209081404



阿南市立見能林小学校

みんなで取り組む授業づくり
→ **研修の活性化による、授業力向上**

◆ ICTを活用した指導案検討・作成会

- ・教員全員がタブレット端末を持ち寄り、画面に表示された「本時の学習活動」について、個々の気付きを書き込む。
- ・ICTの効果的な活用場面や方法についても協議を行う。

◆ 視点を定めた授業参観・研究会

視点

- ・児童の姿
- ・教師の支援
- ・授業の流れ
- ・タブレットの活用
- ・実行プランとの関連



- タブレットを活用した教員の協働的な研修が、授業における子どもの主体的な学びにつながりました。
(先生の声)
- 様々な視点から協議がなされ、対話的で深まりのある研究会になりました。また若い教員にとって、授業の見方の指針にもなりました。
(学力向上推進担当の声)
- 先生方が知恵を出し合い授業を検討・計画し、学校全体が協働し学び合う場となっています。(鳴教大 藤原教授)

美馬市立岩倉中学校

授業改善の視点を教科横断的に
→ **生徒の学びの自覚化を実現**

◆ 学校独自作成! 授業改善チェックリスト (一部抜粋)

まとめ、学びや気づきの広がり	① 一人の意見を、全体の学びにつなげることができているか。
	② 多様な価値観に目を向けさせているか。
振り返り	③ 本時の振り返りの場面が作れているか。

- ・授業構想や授業参観時に活用しています。

◆ 生徒・教師の視点からの振り返り

ふりかえり めあてに戻り

わかった、できた!	もっと次は
<ul style="list-style-type: none"> ～が分かった(分からはかった) ～まで分かった ～が楽しかった ～ができた ～をやった(り)と思った 	<ul style="list-style-type: none"> ～をもっと聞きたい 次は～をやりたい ～を練習したい ～を管理したい(予定したい)
発見した	
<ul style="list-style-type: none"> ～前に言っていた～を覚わらう ○から～だと分かった ～前の階層と～が似ている この考えのいいところは 	



アンケート機能ソフト活用
・教師が生徒の学習状況を確認し、授業改善

小中連携で作成

- 振り返りシートの集計をグラフにして見せてくれました。以前の自分よりも成長していることがわかったので、うれしくて、やる気につながりました。
(生徒の声)
- 生徒の振り返りを分析すると、つまずきの部分がわかり、それらを踏まえて授業改善を行うことで、目指すゴールにたどり着く生徒が増えました。
(先生の声)
- 教師は「授業が命」です。授業力向上を原点とした学校力向上に向け、学び続ける学校でありたい。
(校長)

➤ 今月のトピック

□ 学力向上資料掲載! すぐに、いつでも、何度でも使えます

活用している先生方の感想

学習内容の復習や思考力の育成に活用しています。
(小・中)

タブレットを活用すれば手軽に取り組みます。
(小)

自作しようとしてもなかなか良問をつくることのできないので、このような問題を提案していただけるとありがたいです。(中)



<https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/>



□ あわ(OUR)教育発表会 開催中!

令和5年2月1日(水)～3月10日(金)

・創意工夫を生かした特色ある教育活動を紹介しています。

<https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/%E3%81%82%E3%82%8F%E6%95%99%E8%82%B2%E7%99%BA%E8%A1%A8%E4%B0%9A>

□ 児童がつまずきやすい苦手な単元を効果的に学習する教材! おすすめです!



小学1年生算数科の単元「たすのかな・ひくのかな」に合わせ、作成した教材で、児童が一人で取り組めるよう構成しています。

美馬市立脇町小学校と連携

教材は、徳島県立総合教育センター「特別支援まなびの広場」ホームページで公開中



<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/setting/ee1f4cec495b415cd015969029842201>